

(仮称)印西町学校給食センター地質調査委託

報 告 書

昭和 58 年 2 月

千 葉 県 企 業 庁

武蔵野土質調査株式会社

()

目 次

1. ま え が き	(1)
2. 調 査 方 法	(4)
2 - 1 ボーリング調査	(4)
2 - 2 平板載荷試験	(7)
2 - 3 現状土 C B R 試験	(9)
3. 地 形 ・ 地 質 の 概 要	(10)
3 - 1 千葉県 の 地 形 地 質 概 要	(10)
3 - 2 調査地附近の地 形 地 質 概 要	(13)
4. 調 査 結 果	(16)
4 - 1 ボーリング調査結果	(16)
4 - 2 平板載荷試験結果	(19)
4 - 3 現状土 C B R 試験結果	(31)
5. 検 討	(33)
5 - 1 くい基礎の検討	(33)
5 - 2 舗装に関する検討	(48)
6. あ と が き	(54)

< 卷 末 資 料 >

- (1) 土 質 柱 状 図
- (2) 平 板 載 荷 試 験 結 果
- (3) 現 状 土 C B R 試 験 結 果
- (4) 現 場 記 録 写 真

< 附 図 >

- (1) 調 査 位 置 図
- (2) 支 持 層 等 深 淺 図
- (3) 地 質 断 面 図

< 別 途 提 出 >

- (1) 土 質 標 本

1. ま え が き

本地質調査委託は、千葉県企業庁の御依頼により武蔵野土質調査株式会社が実施したもので、その概要は次のとおりである。

- (1) 調査件名：(仮称)印西町学校給食センター地質調査委託
- (2) 調査地：千葉県印旛郡印西町船尾字原山1451他(図1-1
案内図参照)
- (3) 調査目的：(仮称)印西町学校給食センター建築予定地の地質
ならびに地耐力を明らかにし、その設計・施工に資
することを目的として実施したものである。
- (4) 調査内容：①機械ボーリング 5箇所 延125m
②平板載荷試験 延2箇所
③現状土試料採取とその室内CBR試験 延3箇所
なお、調査内容の詳細を表1-1に示す。
- (5) 調査期間：昭和57年12月～昭和58年2月
- (6) 担当者：主任技術者 細井俊一
現場代理人 竹山俊彦
調査担当 長坂輝雄、飯田政和
鈴木秀一、他
報告書作成 竹山俊彦

図1-1 案内図

(2)



1:25,000

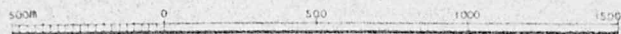
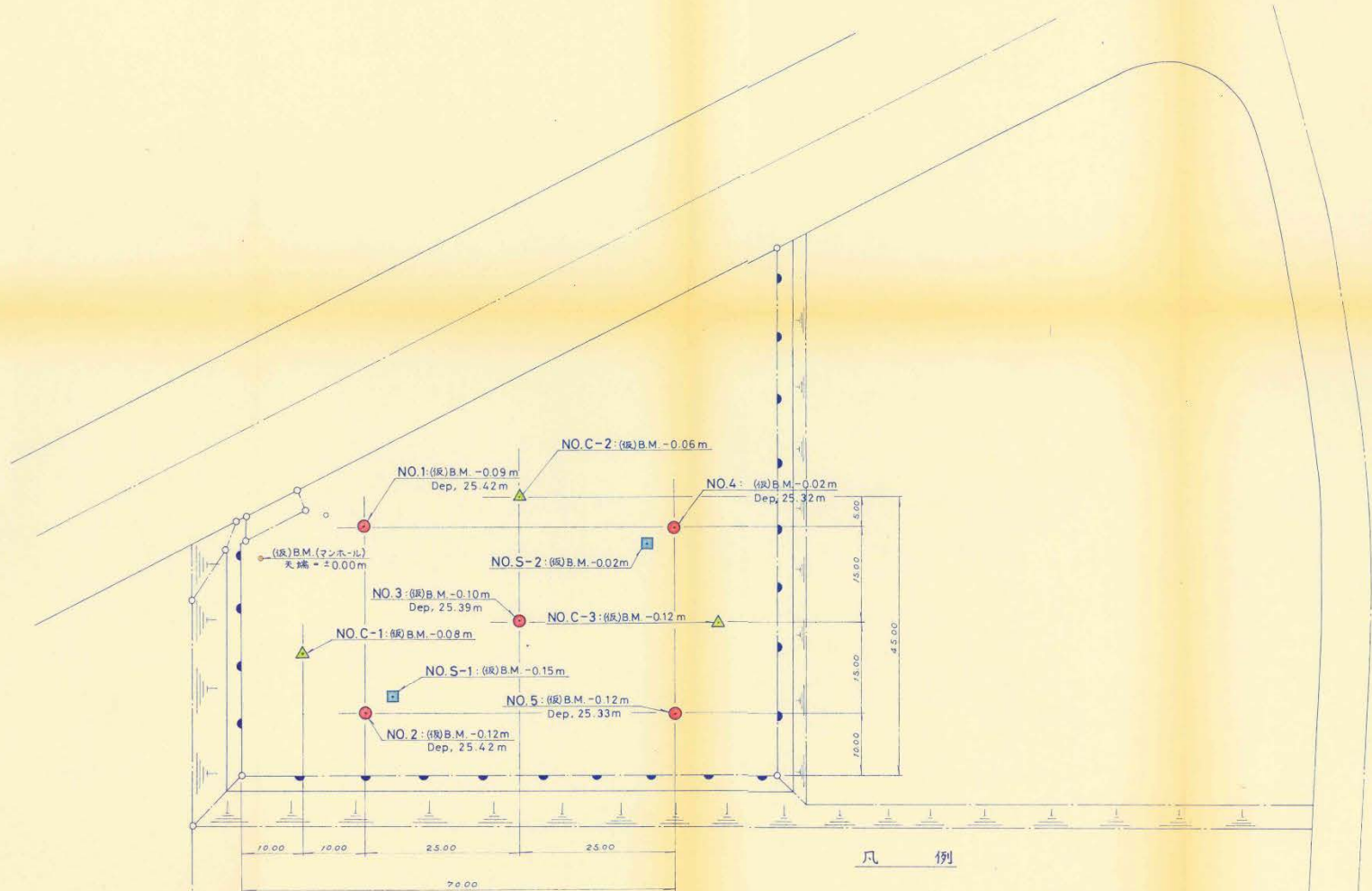


表 1 - 1 調 査 数 量 表

項目 No	孔 口 標 高 (板) B. M. (m)	調 査 深 度 (m)	標 準 貫 入 試 驗 (回)	現 狀 土 試 料 採 取 (箇)	現 狀 土 CBR 試 驗 (箇)	平 板 載 荷 試 驗 (箇 所)
1	-0.09	2.5	25	-	-	-
2	-0.12	2.5	25	-	-	-
3	-0.10	2.5	25	-	-	-
4	-0.02	2.5	25	-	-	-
5	-0.12	2.5	25	-	-	-
S - 1	-0.15	-	-	-	-	1
S - 2	-0.02	-	-	-	-	1
C - 1	-0.08	-	-	1	1	-
C - 2	-0.06	-	-	1	1	-
C - 3	-0.12	-	-	1	1	-
合 計	-	12.5 m	125回	3箇	3箇	2箇所

調査位置図

縮尺 1:500



凡例

- | | | | |
|---|-----------------------------|---|--------------|
| ① | NO.2: (仮)B.M. 3m
Dep. 4m | ① | ボーリング調査地点 |
| ② | NO.2: (仮)B.M. 3m | ② | 調査地点番号 |
| ③ | NO.2: (仮)B.M. 3m | ③ | 調査位置地表面の標高 |
| ④ | NO.2: (仮)B.M. 3m | ④ | 調査深度 |
| ⑤ | | ⑤ | 現状土CBR試験実施位置 |
| ⑥ | | ⑥ | 平板載荷試験実施位置 |

調査地 千葉県印旛郡印西市船尾字原山1451地

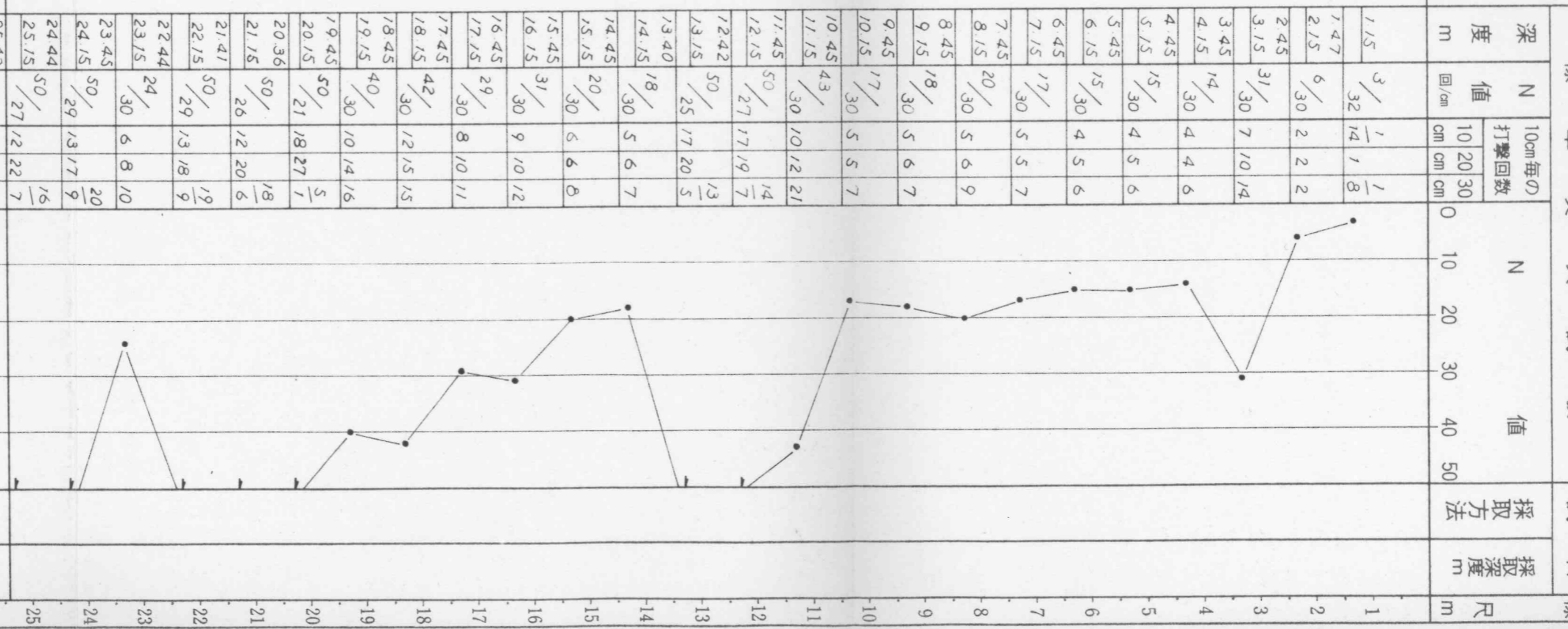
調査年月日 年 月 日 ~ 年 月 日

標高 (仮) B.M. -0.09 m 自然水位 G.L. -4.07 m 孔径 15

技術者 長坂輝雄

標尺 m	標高 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察	相対密度	相対稠度	現位置試験深度 m	標準貫入試験			採取方法	料採取深度 m
										深 度 m	N 値	100cm毎の 打撃回数		
1	-0.79	0.70	0.70	褐	土	全体に含水量多く細砂とシルトとが混在する。若干のシルト分及び貝殻片を含む。	中	軟	1.15	3 / 32	1 / 14	1 / 8		
1	-0.99	0.90	0.20	灰	砂混り粘土	焼灰質粘土より成る。含水量中位で薄石。ヌコリア及び酸化物質を含む。粘性は中位。	中	軟	1.47	6 / 30	2 / 2	2 / 2		
1	-1.59	1.50	0.60	灰	砂質シルト	全体に含水量多くシルトを主体とするが中〜細砂とヌコリア状に挟在する。	中	軟	2.45	3 / 15	3 / 30	7 / 10	1 / 4	
2	-2.89	2.80	1.30	褐	シルト混り砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	2.45	3 / 15	3 / 30	7 / 10	1 / 4	
3	-3.59	3.50	0.70	暗褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	3.45	4 / 15	14 / 30	4 / 4	6 / 6	
4				褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	4.45	5 / 15	15 / 30	4 / 5	6 / 6	
5				褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	5.45	6 / 15	15 / 30	4 / 5	6 / 6	
6				黄褐	微細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	6.45	7 / 15	17 / 30	5 / 5	7 / 7	
7				黄褐	微細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	7.45	8 / 15	20 / 30	5 / 6	9 / 9	
8				黄褐	微細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	8.45	9 / 15	18 / 30	5 / 6	7 / 7	
9				黄褐	微細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	9.45	10 / 15	17 / 30	5 / 5	7 / 7	
10	-10.59	10.50	7.00	暗褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	10.45	10 / 45	43 / 30	10 / 12	21 / 21	
11				暗黄褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	11.45	11 / 45	30 / 30	10 / 12	21 / 21	
12				青黄褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	12.45	12 / 15	50 / 27	17 / 19	14 / 7	
13	-13.59	13.50	3.00	茶黄褐	シルト混り砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	13.45	13 / 15	50 / 25	17 / 20	13 / 5	
14				茶黄褐	シルト混り砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	14.45	14 / 15	18 / 30	5 / 5	7 / 7	
15	-15.59	15.50	2.00	茶黄褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	15.45	15 / 15	20 / 30	6 / 6	6 / 6	
16				茶黄褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	16.45	16 / 15	31 / 30	9 / 10	12 / 12	
17				茶黄褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	17.45	17 / 15	29 / 30	8 / 10	11 / 11	
18				茶黄褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	18.45	18 / 15	42 / 30	12 / 15	15 / 15	
19	-19.59	19.50	4.00	茶黄褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	19.45	19 / 15	40 / 30	10 / 14	16 / 16	
20				茶黄褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	20.45	20 / 15	50 / 21	18 / 27	5 / 7	
21				暗黄褐	微細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	21.45	21 / 15	50 / 26	12 / 20	6 / 6	
22				暗黄褐	微細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	22.44	22 / 15	50 / 29	13 / 18	9 / 9	
23	-23.19	23.10	3.60	黄褐	細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	23.45	23 / 15	24 / 30	6 / 8	10 / 10	
24	-23.99	23.90	0.80	淡黄褐	固結砂質シルト	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	24.44	24 / 15	50 / 29	13 / 17	9 / 9	
25	-25.09	25.00	1.10	黄褐	微細砂	全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。	中	軟	25.42	25 / 15	50 / 27	12 / 22	7 / 7	
26														
27														
28														
29														
30														

観察欄の注記: 全体に含水量中位で細砂〜中砂より成る。砂の粒子は不均一である。茶褐色の粘土をヌコリア状に挟在する。全体に含水量中位で細砂分は13%と含まれている。



(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎—2 貫入試験機による試料
- 3 コア—試料

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数, 10cm~20cmの間で要した打撃回数, 20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれ示したものである。

3.20 3.20—3.70は試料採取深度 (m)

調査地 千葉県印旛郡印西市船尾字原山1451地

調査年月日 年 月 日 ~ 年 月 日

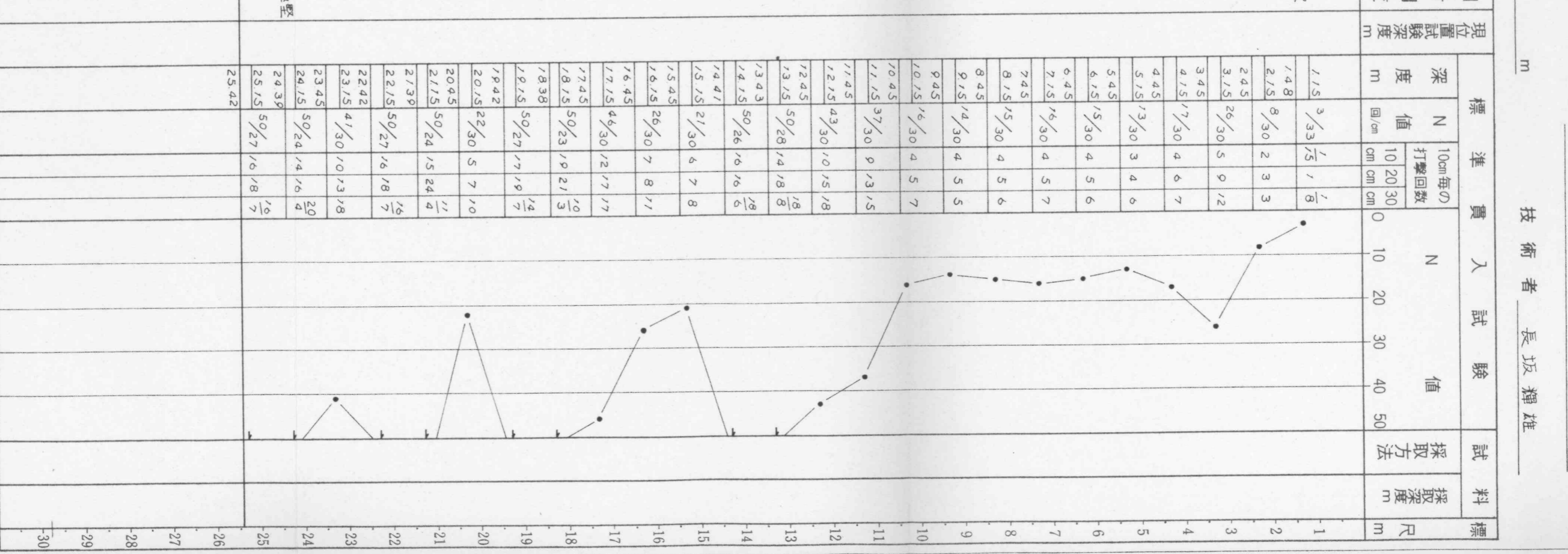
標高 (仮) B.M. -0.12 m 自然水位 GL. -4.95 m

技術者 長坂輝雄

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察	相對密度	相對稠度	現位置試験深度 m	標準貫入試験値			採取方法	採取深度 m
											深度 m	N 値 回/cm	10cm 毎の 打撃回数 10 cm 20 cm 30 cm		
1	-0.92	0.80	0.80	黄 褐	盛 土	土	全体に含水量多い黄シルトを混入する。シルトと主体とする。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	1.15	3/33	1/15	1/8		
1	-1.32	1.20	0.40	灰	砂質シルト	砂質シルト	全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	1.48	8/30	2/3	3		
2	-1.82	1.70	0.50	灰	砂混り粘土	粘土混り細砂	全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	2.15	26/30	5/9	12		
2	-2.62	2.50	0.80	茶 褐	粘土混り細砂	砂	全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	2.45	26/30	5/9	12		
3	-3.62	3.50	1.00	茶 褐	細 砂	砂	全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	3.45	17/30	4/6	7		
4							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	4.15	13/30	3/4	6		
5							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	4.45	13/30	3/4	6		
6							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	5.15	15/30	4/5	6		
7							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	5.45	15/30	4/5	6		
8							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	6.15	16/30	4/5	7		
9							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	6.45	16/30	4/5	7		
10							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	6.45	16/30	4/5	7		
10	-10.62	10.50	7.00				全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	7.15	16/30	4/5	7		
11							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	7.45	15/30	4/5	6		
12							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	8.15	15/30	4/5	6		
13							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	8.45	14/30	4/5	5		
14							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	9.15	14/30	4/5	5		
15							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	9.45	16/30	4/5	7		
16							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	10.15	16/30	4/5	7		
17							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	10.45	37/30	9/13	15		
18							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	11.15	37/30	9/13	15		
19							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	11.45	43/30	10/15	18		
20							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	12.15	43/30	10/15	18		
21							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	12.45	50/28	14/18	18		
22							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	13.15	50/28	14/18	18		
23							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	13.43	50/26	16/16	18		
24							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	14.15	21/30	5/7	8		
25							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	14.41	21/30	5/7	8		
26							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	15.15	26/30	7/8	11		
27							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	15.45	26/30	7/8	11		
28							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	16.15	46/30	12/17	17		
29							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	16.45	46/30	12/17	17		
30							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	17.15	50/23	19/21	10		
31							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	17.45	50/23	19/21	10		
32							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	18.15	50/27	17/19	14		
33							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	18.38	50/27	17/19	14		
34							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	19.15	22/30	5/7	10		
35							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	19.42	22/30	5/7	10		
36							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	20.15	22/30	5/7	10		
37							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	20.45	50/24	15/24	11		
38							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	21.15	50/24	15/24	11		
39							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	21.39	50/27	16/18	16		
40							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	22.15	50/27	16/18	16		
41							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	22.42	41/30	10/13	18		
42							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	23.15	41/30	10/13	18		
43							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	23.45	50/24	15/24	11		
44							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	24.15	50/24	15/24	11		
45							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	24.39	50/24	15/24	11		
46							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	25.15	50/27	16/18	16		
47							全体に含水量多量。シルトと主体とする。シルトと主体とする。下部茶褐色の細砂がみられる。	中	軟	25.42	50/27	16/18	16		

(注) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○—1 乱さない試料
 ⊙—2 貫入試験機による試料
 ●—3 コア—試料
 2. 試料採取深度と回収比

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数, 10cm~20cmの間で要した打撃回数, 20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしたものである。



調査地 千葉県印旛郡印西町船尾字原山1415地

調査年月日 年 月 日 ~ 年 月 日

標高(仮) B.M. - 0.10 m

自然水位 孔内 G.L. - 4.15 m

技術者 長坂輝雄

標尺 m	標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察	相對密度	相對稠度	現位置試験深度 m	標準貫入試験			採取方法	料採取深度 m
											深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の打撃回数		
1	-0.40	0.30	0.30	茶	灰	砂混り粘土	全体に含水量多く軟弱である。雲母片、腐植物痕少量混入。	極緩	極堅	1.15	2/31	1/17	1/14		
2	-1.30	1.20	0.90	茶	灰	粘土混り砂	全体に含水量多く軟弱である。又コリアン礫石を含ま。火山灰質である。腐植物少量混入。	緩	極堅	1.46	6/30	2/2	2/2		
3	-1.90	1.80	0.60	暗茶	褐	砂	全体に含水量は少ない。粒子均一で細砂より成る。砂混り粘土を互層状に挟む。	中	極堅	2.45	22/30	6/7	9/9		
4	-3.80	3.70	1.90	黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。	中	極堅	3.45	13/30	3/4	6/6		
5				黄	褐	微細砂	700μ付近以深は含水量増加と共にシルト分に富む。他は混入物ほぼほとんどない。	中	極堅	4.45	13/30	4/4	5/5		
6				黄	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	5.45	15/30	4/5	6/6		
7				黄	褐	微細砂	700μ付近以深は含水量増加と共にシルト分に富む。他は混入物ほぼほとんどない。	中	極堅	6.45	12/30	3/4	5/5		
8				黄	褐	微細砂	700μ付近以深は含水量増加と共にシルト分に富む。他は混入物ほぼほとんどない。	中	極堅	7.45	14/30	4/5	5/5		
9				黄	褐	微細砂	700μ付近以深は含水量増加と共にシルト分に富む。他は混入物ほぼほとんどない。	中	極堅	8.45	13/30	3/4	6/6		
10	-7.60	7.50	6.80	青	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	9.45	15/30	4/5	6/6		
11				青	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	10.45	24/30	5/9	10/10		
12				黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	11.45	41/30	12/14	15/15		
13				黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	12.45	50/26	15/20	15/6		
14				黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	13.41	50/29	14/18	18/9		
15				黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	14.15	26/30	6/7	13/13		
16				黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	15.45	41/30	8/15	18/7		
17				黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	16.15	30/30	8/15	18/7		
18				黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	17.45	50/27	15/20	15/7		
19				黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	18.15	49/30	12/18	19/19		
20				黄	褐	砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。砂の粒径は比較的細かい。	中	極堅	19.15	50/22	19/23	2/2		
21	-21.60	21.50	11.00	青	褐	貝殻混り細砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。貝殻微片を点在する。2300μ付近以深その混入量は手に多い。上部22.20~22.30m間灰色の固結シルトを挟む。	中	極堅	19.37	50/25	18/20	12/5		
22				青	褐	貝殻混り細砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。貝殻微片を点在する。2300μ付近以深その混入量は手に多い。上部22.20~22.30m間灰色の固結シルトを挟む。	中	極堅	20.15	31/30	8/8	15/15		
23				青	褐	貝殻混り細砂	全体に含水量少なく粒子均一な砂より成る。貝殻微片を点在する。2300μ付近以深その混入量は手に多い。上部22.20~22.30m間灰色の固結シルトを挟む。	中	極堅	21.15	50/23	10/23	17/3		
24	-24.30	24.20	2.70	黄	褐	灰固結砂質シルト	全体に含水量少なく非常に堅固である。若干の貝殻微片を点在する。	中	極堅	22.40	50/21	18/28	4/7		
25	-25.10	25.00	0.80	黄	褐	灰固結砂質シルト	全体に含水量少なく非常に堅固である。若干の貝殻微片を点在する。	中	極堅	23.36	50/23	10/23	17/3		
26	-25.49	25.39	0.39	黄	褐	灰固結砂質シルト	全体に含水量少なく非常に堅固である。若干の貝殻微片を点在する。	中	極堅	24.38	50/24	19/21	10/2		
27															
28															
29															
30															

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○—1 乱さない試料
 ⊙—2 貫入試験機による試料
 ●—3 コア—試料

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm~20cmの間で要した打撃回数、20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

3.20—3.70は試料採取深度 (m)
 45

調査地 千葉県印旛郡比田西町船尾字原山1451地

調査年月日 年 月 日 ~ 年 月 日

標高 (版) B.M. -0.02 m 自然水位 G.L. -5.10 m 孔内

技術者 飯田 政和

標尺 m	標高 m	層厚 m	柱状図	色調	土質名	観察	相對密度	相對稠度	現位置試験深度 m	標準貫入試験			採取方法	料採取深度 m
										深度 m	N 値 回/cm	10cm毎の 打撃回数 cm		
1	-0.67	0.65	茶	褐	土	全体に含水量多く砂混り粘土を主体とする。全体に含水量多く粘性に富む。細砂を不規則に卓越する。薄石入り点をなし火山灰質である。下部で砂分がほとんど含たないシルトの薄層は挟む。	中	軟	1.15	2/31	1/10	1/12		
2	-2.77	2.75	茶	褐	砂質粘土	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	1.46	7/30	2	2	3	
3	-3.52	3.50	茶	褐	シルト混り細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	2.45	24/30	8	7	9	
4		0.75	茶	褐	シルト混り細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	3.45	17/30	5	6	6	
5			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	4.45	16/30	4	5	7	
6			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	5.45	24/30	7	7	10	
7			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	6.45	19/30	5	6	8	
8			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	7.45	39/30	8	15	16	
9			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	8.45	22/30	6	7	9	
10			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	9.45	48/30	13	16	19	
11	-10.82	10.80	茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	10.45	50/26	14	19	17	
12			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	11.45	50/25	17	21	12	
13			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	12.45	50/28	13	19	18	
14			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	13.45	50/22	19	28	2	
15			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	14.45	40/30	11	14	15	
16			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	15.45	36/30	9	12	15	
17			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	16.45	50/29	13	17	20	
18			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	17.45	50/28	12	19	19	
19			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	18.45	38/30	11	12	15	
20			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	19.45	50/24	18	24	8	
21	-21.47	21.45	茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	20.45	37/30	9	11	18	
22			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	21.45	30/30	5	8	17	
23			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	22.45	41/30	10	13	18	
24			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	23.45	50/22	17	26	7	
25	21.34	25.32	茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	24.37	50/17	17	33	7	
26			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中	25.32					
27			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中						
28			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中						
29			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中						
30			茶	褐	微細砂	全体に含水量少なく粒子均一で細砂より成る。砂の粒径は非常に細かい。震母片を混入する。4.00~5.00m間、6.00~9.00m間及び10m付近シルトをワロツ状に混入する他、細粒分はほとんど含まない。	中	中						

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)
 ○—1 乱さない試料
 ⊙—2 貫入試験機による試料
 ●—3 コア—試料
 2. 試料採取深度と回収比
 3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm~20cmの間で要した打撃回数、20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしたものである。

3.20 / 45
 3.20—3.70は試料採取深度 (m)

調査地 千葉県印旛郡印旛西町船尾字原山1451地

調査年月日 年 月 日 ~ 年 月 日

標高 (仮) B.M.-0.12 m

自然水位 孔内 G.L. -4.20 m

技術者 飯田 政和

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	土 質 名	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	現位置試験深度 m	標 準 費 入 試 験 値			試 料 探 取 深 度 m		
											深 度 m	N 値	10cm毎の打撃回数			
1	-1.92	1.80	1.80	X	乳黄灰表土	土	全体に含水量多し、細砂質シルト-シルト質細砂より成る。酸化物が多少入り混入する。	極様	中	1.15	3/32	1/12	1/11	1/9	1	
2	-2.72	2.60	0.80								2.45	17/30	4	6		7
3	-3.92	3.80	1.20	褐	茶褐細砂	砂	全体に含水量少なからず、粗砂の非常に粗かい砂より成る。砂の粗さは均一である。	中	中	3.15	34/30	9	12	13	3	
4											3.45	13/30	4	4		5
5											4.45	5/15	5	5		8
6											5.45	16/30	5	5		6
7											6.45	19/30	5	6		8
8											7.45	28/30	6	9		13
9											8.45	18/30	4	6		8
10											9.45	14/30	5	4		5
11											10.45	50/27	13	18		19
12											11.42	50/23	18	25		23
13				12.15												
14				12.38												
15				13.15	33/30	8	12	13								
16				13.45												
17				14.15	50/29	13	17	20								
18				14.44												
19				15.15	22/30	6	7	9								
20				15.45												
21				16.15	32/30	7	11	14								
22				16.45	29/30	6	9	14								
23				17.15												
24				17.45												
25				18.15	50/26	15	17	18								
26				18.41												
27				19.15	50/25	14	21	15								
28				19.40												
29				20.15	50/24	12	23	15								
30				20.39												
				21.15	10/30	2	3	5								
				21.45												
				22.15	50/17	27	23									
				22.32												
				23.15	40/30	11	13	16								
				23.45												
				24.15	50/18	14	18									
				24.33												
				25.15	50/18	18	32									
				25.33												

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア-試料

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数、10cm~20cmの間で要した打撃回数、20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしたものである。

3.20

3.20-3.70は試料採取深度 (m)

45